

日本農芸化学会2015年度(平成27年度) 大会関係のお知らせ

1. 開催概要

会 期：2015年3月26日（木）～29日（日）

会 場：

[3月26日（木）] 授賞式・受賞講演・農芸化学「化学と生物」シンポジウム・懇親会：ホテルグランヴィア岡山（〒700-8515岡山市北区駅元町1番5）／
[3月27日（金）～29日（日）] 一般講演・展示会・シンポジウム・ランチョンセミナー・ジュニア農芸化学会等：岡山大学津島キャンパス（〒700-8530岡山市北区津島中）

2. プログラム

[第1日目（3月26日）] 学会賞等授賞式、受賞講演、農芸化学「化学と生物」シンポジウム、懇親会／[第2日目（3月27日）] 一般講演、ジュニア農芸化学会（本号t-11ページ）、男女共同参画ランチョンシンポジウム、ランチョンセミナー、機器・試薬・書籍等展示会／[第3日目（3月28日）] 一般講演、ランチョンセミナー、産学官学術交流委員会フォーラム（本号t-12ページ）、ミキサー、機器・試薬・書籍等展示会／[第4日目（3月29日）] 一般講演、ランチョンセミナー、JABEEランチョンシンポジウム（本号t-13ページ）、シンポジウム（シンポジウム一覧は本号t-3ページ）、機器・試薬・書籍等展示会

3. 一般講演申込

一般講演の申込および発表要旨の投稿はWEBで受け付けます。

※一般講演の申込は、本会の個人会員に限ります。個人会員でない方は会員登録が必要です。

※一般講演の発表には、2015年度までの会費および大会参加費が完納されていることが必須です。

※一般講演申込の前に、大会参加登録いただきます。

一般講演申込・要旨投稿 WEB受付期間

2014年11月4日（火）～12月8日（月）正午

※一般講演申込をされた方は、指定期日までに大会参加費の納入をお願いいたします。

※大会参加費の納入は、WEB上でのクレジットカード決済・コンビニ決済をお願いいたします。

※下記ページを必読のうえ、お申込ください。

（本号t-4ページ）一般講演申込・要旨投稿要領

（本号t-5ページ）申込分類表

（本号t-7ページ）講演（発表）要領

（本号t-7ページ）WEB申込・投稿システムご利用上の注意点

（大会ホームページ）大会における研究発表の特許手続き上の証明（詳細は2015年度大会ホームページをご覧ください。）

4. 大会参加申込

大会参加の申込はWEBで受け付けます。

参加申込 WEB受付期間（口頭発表者以外）

2014年11月4日（火）～2015年3月29日（日）正午

※一般講演申込をされた方は、新たに登録いただく必要はありません。

※大会参加費の納入は、WEB上でのクレジットカード決済・コンビニ決済をお願いいたします。

※下記ページを必読のうえ、お申込ください。

（本号t-8ページ）大会参加申込要領（口頭発表者以外）

※WEBでの申込が困難な場合は、本号t-14ページの参加申込書を切り取り、Fax（03-3815-1920）または郵送（〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階）で日本農芸化学会事務局大会係宛にお送りください。代理で登録し、オンライン参加受付番号をお知らせいたします。

5. 懇親会

懇親会参加専用WEBページからも申込いただけます。一般講演申込者で懇親会参加未定の方は、講演申込の際には、「参加しない」を選択してください。参加が決定しましたら、上記懇親会参加専用WEBページでお手続きください。

6. 参加費

下記ページを必読してください。

(本号t-9ページ) 参加費

(本号t-10ページ) 参加費の納入に関する注意点

7. 申込から大会当日までの流れ

(1) 口頭発表者の方 ※共同発表者は除きます。

①2014年12月8日正午まで：WEBから一般講演の申込と講演要旨(Word)を投稿する(手順はWEB画面の指示に従ってください)。

②2014年12月8日正午まで：大会参加費をWEBクレジットカード決済またはコンビニ決済する(推奨)。
※参加費を12月8日までにお支払いされた方は、12月下旬、講演日時・会場・講演番号をE-mailで通知いたします。

※12月8日以降は、大会参加費の入金を確認次第、講演日時・会場・講演番号の通知を行います。

③2015年3月初旬：大会プログラム集が届く。*8. 大会プログラム集を参照。

④2015年3月5日：PDF版大会講演要旨集の閲覧先URLがE-mailで通知される。*9.大会講演要旨集を参照。

⑤2015年3月初旬～中旬：大会参加証(懇親会参加者には指定マーク付き)が届く。

⑥2015年3月26日～29日：③の大会プログラム集、④のPDF版大会講演要旨集(各自で必要なページを出力)および⑤の大会参加証を持参して2015年度大会へ参加。

(2) 口頭発表者以外の方で、事前割引料金で大会に参加される方

①2014年11月4日から2015年2月10日正午まで：WEB上で参加申込をする。

②2015年2月10日正午まで：大会参加費(事前割引料金)をWEBクレジットカード決済またはコンビニ決済する(推奨)。

※2月10日正午以降は大会参加費は正規料金となります。ご注意ください。

③(1) 口頭発表者の方の③～⑥と同じ

(3) 口頭発表者以外の方で、正規料金で大会に参加される方

①2015年2月10日午後から2015年3月29日正午まで：WEB上で参加申込をする。

②2015年2月10日午後より：大会参加費(正規料金)をWEBクレジットカード決済またはコンビニ決済する(推奨)。

③E-mailに通知された受付番号をもって当日受付へ。

8. 大会プログラム集：「2015年度大会プログラム集」(冊子)(2015年2月25日発行)は、3月初旬にお送りいたします。

9. 大会講演要旨集(シンポジウム要旨、ランチョンセミナー要旨等を含む)：「2015年度大会講演要旨集」(2015年3月5日発行)は、PDFファイル版のみを刊行いたします。大会参加費をお支払いされた方には、閲覧用パスワードとともにアクセス先URLをE-mailにてご案内します。

10. 大会参加証：WEBで大会参加申込をされ、かつ2015年2月10日までに大会参加費を納入いただいた方には、3月に発送する予定です。

11. 懇親会参加証：大会参加申込の際、懇親会参加を申し込みされ、かつ懇親会参加費を2015年2月10日までに納入いただいた方には、大会参加証に懇親会参加者マークを付けて、3月に発送する予定です。

12. 託児ルーム(本号t-11ページ)

13. 宿泊等のご予約(本号t-10ページ)

14. 公共宿泊施設(本号t-11ページ)

15. 大会実行委員会(一部抜粋)

実行委員長：稻垣賢二(岡山大学大学院環境生命科学研究科教授) Tel. 086-251-8299, E-mail: kinagaki@okayama-u.ac.jp

副実行委員長：上村一雄(岡山大学大学院環境生命科学研究科教授) Tel. 086-251-8305, E-mail: kamimura@okayama-u.ac.jp

総務担当(責任者)：神崎 浩(岡山大学大学院環境生命科学研究科教授) Tel. 086-251-8297, E-mail: hkanzaki@okayama-u.ac.jp

16. 大会の申込・要旨投稿等全般に関する問合せ先

[日本農芸化学会事務局大会係] 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階 Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920, E-mail: kouen@jsbba.or.jp

大会シンポジウム一覧

日本農芸化学会2015年度（平成27年度）大会のシンポジウムは、会員の皆さまからいただいたご提案に基づき、実行委員会での選考を経たうえで構成いたしました。募集にあたっては、「農芸化学を基軸とした異分野融合研究と新技術創成」をテーマとし、「次世代の農芸

開催日：3月29日（日）

4SY01 「異分野融合による天然物創薬～生理活性物質から医薬品シーズへ～」

世話人：井本正哉（慶應大），長田裕之（理研），田代 悅（慶應大）

4SY02 「天然物ケミカルバイオロジー研究の新展開」

世話人：桑原重文（東北大），清田洋正（岡山大），上田 実（東北大）

4SY03 「皆に知って欲しい（意外と知らない）～酵素の産業利用」

世話人：上田 誠（小山高専），廣瀬芳彦（天野エンザイム），高木 忍（ノボザイムズジャパン）

4SY04 「糖質関連酵素の新潮流」

世話人：後藤正利（九州大），伏信進矢（東京大）

4SY05 「「細菌が放出する膜小胞（membrane vesicle）を知っていますか？」～異分野融合を基に推進された細菌膜小胞研究：細菌細胞表層から放出される膜小胞の発見、構造・生合成機構解析、そして応用～」

世話人：渡部邦彦（京都府大），野村暢彦（筑波大）

4SY06 「分子構造多様性創出を指向した二次代謝生合成マシナリーの精密解析および合理的制御」

世話人：荒川賢治（広島大），岩下和裕（酒類研）

4SY07 「合成生物学的なアプローチが次世代の農芸化学をどう変えるか」

世話人：赤田倫治（山口大），阪井康能（京都大）

4SY08 「微生物と電子と金属の複雑な関係を解き明かす微生物腐食研究の最前線」

世話人：若井 曜（神戸大），中村龍平（理研），加藤創一郎（産総研）

4SY09 「生物生産の必須要素「培地・培養」を考える～微生物から植物・動物細胞まで」

世話人：大政健史（徳島大），川向 誠（島根大），小川 順（京都大）

4SY10 「麹菌の機能性研究と育種開発の新潮流～和食への利用を目指して」

世話人：丸山潤一（東京大），北垣浩志（佐賀大）

化学領域を開拓する異分野融合領域研究」と「地域活性化に資するグローバルな農芸化学研究」をシンポジウムコンセプトとして掲げました。シンポジウムの課題と世話人は以下のとおりです。なお、シンポジウム講演の一般公募はいたしません。

4SY11 「ポリアミン研究のさらなる発展と新たな展開をめざした農芸化学と医学薬学との融合」

世話人：鈴木秀之（京工織大），栗原 新（石川県大）

4SY12 「微生物および植物の「耐熱性」と「耐熱化」」

世話人：山田 守（山口大），松下一信（山口大），三角修己（山口大）

4SY13 「生命恒常性の維持に寄与するケミカルリガンド受容機構の新展開」

世話人：宗正晋太郎（岡山大），浜本 晋（東北大），伊原 誠（近畿大）

4SY14 「S-アデノシルメチオニンが関わる多彩な機能と生産」

世話人：藤井 力（酒類研），水沼正樹（広島大）

4SY15 「海産生物に含まれる機能性糖鎖による地域活性化戦略」

世話人：田村純一（鳥取大），大城 隆（鳥取大）

4SY16 「多様性を基盤にした微生物研究の最前線」

世話人：小林達彦（筑波大），西山 真（東京大）

4SY17 「酵母研究が先導する「ユビキチン」サイエンスとテクノロジーの新潮流～分子認識から創傷治癒まで～」

世話人：阿部文快（青山学院大），高木博史（奈良先端大）

4SY18 「次世代資源：植物糖鎖の糖質科学」

世話人：藤山和仁（大阪大），石水 毅（立命館大），前田 恵（岡山大）

4SY19 「農芸化学から越境するメタボロミクス」

世話人：松田史生（大阪大），及川 彰（山形大），三浦大典（九州大）

4SY20 「生体の発達・成長・維持における栄養とホルモン作用の分子機序」

世話人：後藤 剛（京都大），亀井康富（京都府大）

4SY21 「ロコモティブシンドロームとメカニカルストレス～農芸化学が貢献できること～」

世話人：木岡紀幸（京都大），深田 尚（大阪府大）

4SY22 「農業に貢献する環境バイオテクノロジー～古

くて新しい『堆肥化技術』複雑系から環境保全・資源循環に向けて～」
世話人：加藤純一（広島大），宮内啓介（東北学院大），木邑敏章（トヨタ自動車）

4SY23 「地域資源で東北を元気にするグローカルな農芸化学～食品から機能性研究へ～」
世話人：木村賢一（岩手大），長澤孝志（岩手大）

一般講演申込・要旨投稿要領

■一般講演申込・要旨投稿・参加申込

〈一般講演 申込・要旨投稿 WEB受付期間〉

および

〈確認・修正受付期間〉

2014年11月4日（火）～12月8日（月）正午

※2013年から要旨投稿締切後の修正期間は廃止となりました。
12月8日（月）正午以降は修正できませんのでご注意ください。

○会員の方

2015年度大会ホームページ（<http://www.jsbba.or.jp/> 2015/）「大会申込エントランス」より、登録画面にログインできます。会員番号（7桁）・生年月日（8桁）・E-mailアドレスを入力してログイン後、画面の指示に従ってください。

※会員番号は、本誌送付状に印字されている7桁の数字です。

※入力したE-mailアドレス宛に申込受付や講演番号が通知されます。

※口頭発表者は、来年度（2015年度）までの会費および本大会参加費を完納されていることが発表必須条件です。

※本会ホームページ（<http://www.jsbba.or.jp/>）の会員 Mypage にて会費のお支払い状況が確認できます。来年度までの会費が完納されていないと演題登録画面に進めません。

※会費が未納の方は、会費をクレジットカード決済またはコンビニ決済していただき、演題登録を行ってください。

会費専用決済サイト：

https://jsbba.bioweb.ne.jp/mypage/application_payment.php

※上記サイトにて、クレジットカード決済かコンビニ決済をお選びいただき、決済画面に進んでください。

※大会参加費はクレジットカード決済またはコンビニ決済にて、12月8日正午までにお支払いください。

○会員手続き中の方（仮会員）

初年度会費をクレジットカード決済またはコンビニ決済

していただくことで、仮会員番号認証での演題登録ができます。

クレジットカード決済またはコンビニ決済が完了しましたら、上記「会員の方」と同様の手順で登録を行ってください。

※会員番号は頭に「ADM」が付いた仮会員番号を入力してください。

○新規入会して発表申込を行う方

2015年度大会ホームページ「大会申込エントランス」内の「非会員の方」を選択し、入会申込→新規入会手続きボタンをクリックして新規会員登録の手続きをしてください。新規会員登録の手続きが完了したら、上記「会員の方」と同様の手順で、会費決済、演題登録を行ってください。

※一般講演の申込は、個人会員の方に限ります。

■一般講演 登録の手順・注意点

※画面に表示される手順・注意点をよく読み、間違いないよう入力してください。

（1）参加情報

- ・登録者情報はログイン時に入力したデータをもとに表示されますので、改めて入力できません。
- ・特殊な文字（外字）で会員登録されている方は、一般講演（口頭発表）の申込の際に文字化けすることがありますので、会員登録では当用漢字またはひらがなをご入力ください。
- ・懇親会参加の有無、参加証等の送付先住所を選択してください。

（2）講演情報

1. 要旨の言語
 - ・大会講演要旨集に掲載する言語（日本語または英語）を選択してください。
2. 分類
 - ・申込分類表から希望の講演分類コードを選択してください（本号t-5ページ申込分類表参照）。
3. 口頭発表者情報
 - ・画面に表示される情報をよくご確認ください。

4. タイトル
 - ・日本語発表の方は、和文、英文両方を枠内に入力してください。
5. 要旨ファイル
 - ・所定のテンプレートファイル（Word）を利用し、テンプレート注意事項を必読のうえ、要旨を作成してください。詳細はWEB（<http://www.jsbba.or.jp/2015/>）をご参照ください。
6. 発表者情報
 - ・詳細はWEB（<http://www.jsbba.or.jp/2015/>）にてご案内します。学生の単独発表の登録はできません。
7. キーワード
 - ・英語でご入力ください。
8. 連続発表
 - ・連続発表を希望する場合は、登録画面の指示に従って入力してください。なお、同一分類を選択されている演題のみ受け付けます。
9. コメント欄
 - ・全角で127文字以内に収めてください。
 - ・特殊な字体を当用漢字で置き換えたくない場合は、「代替文字無し」と記入し、代わりに用いた文字を入力してください。最終的には、大会実行委員会の判断にお任せいただき、ご希望に沿えない場合もありますのでご了承ください。
10. 自薦（トピックス）
 - ・お申込の演題が大会トピックス集に掲載されるにふさわしいと判断される場合は、選択してください。
 - ・ふさわしい演題とは、「学術的あるいは社会的にインパクトのある」本大会で初めて公表する新規の発表で、報道されるにふさわしいと発表者グループ自

身が判断するものです。

- ・大会トピックス集とは、大会実行委員会および本会広報委員会が全演題の中から選定し、報道機関へ無償配布するものです。この大会トピックス集をもとに、大会直前（大会講演要旨集発行後）に報道機関各社を招いて記者会見を行い、本大会の広報をいたします。

11. 著作権

- ・大会講演要旨の著作権は、日本農芸化学会に帰属しますので、必ず「承諾します」にチェックを入れてください。

12. 内容確認

- ・内容をご確認いただき、「登録内容について、確かに確認しました」にチェックを入れ、登録ボタンを押してください。

■申込確認・内容修正

- ・2015年度大会ホームページ（<http://www.jsbba.or.jp/2015/>）の「大会申込エントランス」内の「一般講演確認・修正」からお入りください。
- ・オンライン受付番号・E-mailアドレスを入力し、認証ボタンを押してください。オンライン受付番号は、カッコより前の数字を入力してください（例：受付番号LE1872(10)→1872と入力）。

■申込後の確認・修正手順・注意点

- ・修正処理が完了すると自動配信メールが届きます。

確認・修正 受付期間

2014年11月4日（火）より12月8日（月）正午まで

※2013年から要旨投稿締切後の修正期間は廃止となりました。
12月8日（月）正午以降は修正できませんのでご注意ください。

申込分類表

下表の中から第1希望と第2希望の発表分類を選び、4桁の数字を入力してください。

【講演分類項目】

◇環境科学・バイオマス利用

- 1010 環境保全、浄化技術工学、バイオレメディエーション
- 1020 環境汚染物質
- 1030 資源変換、資源再生利用
- 1040 バイオマス、バイオマス変換、バイオ燃料、バイオ化成品
- 1050 バイオ電池関連

1060 その他

◇有機化学、天然物化学

- 1110 天然物—単離構造決定—微生物
- 1111 天然物—単離構造決定—動物
- 1112 天然物—単離構造決定—植物
- 1120 天然物—生合成、代謝
- 1130 天然物—ケミカルバイオロジー、作用機構
- 1140 医薬
- 1150 農薬

- 1160 合成, 反応機構
1170 その他
- ◇酵素
1210 脂質代謝関連酵素
1220 アミノ酸代謝関連酵素
1230 糖質代謝関連酵素
1240 タンパク質・ペプチド代謝関連酵素
1250 核酸代謝関連酵素
1260 酸化還元酵素
1270 その他
- ◇食品
1310 食品化学—糖質, 脂質
1311 食品化学—タンパク質, アミノ酸
1312 食品化学—色素, 香料
1313 食品化学—その他
1320 食品工学—製造工学
1321 食品工学—加工学
1322 食品工学—保藏, 安全性
1323 食品工学—物性, 分析
1324 食品工学—その他
1330 食品機能・栄養—脂質代謝
1331 食品機能・栄養—糖質代謝
1332 食品機能・栄養—タンパク質・アミノ酸代謝
1333 食品機能・栄養—消化・吸収, 循環
1334 食品機能・栄養—免疫, 炎症, アレルギー
1335 食品機能・栄養—癌
1336 食品機能・栄養—酸化, 抗酸化, 老化
1337 食品機能・栄養—神経, 内分泌
1338 食品機能・栄養—ビタミン, ミネラル
1339 食品機能・栄養—その他
- ◇微生物
1410 細胞一分離, 分類, 生態
1411 細胞—複合微生物, 共生微生物, 難培養性微生物
1412 細胞—栄養, 生育, 増殖
1413 細胞—構造, オルガネラ, 小胞, 分泌, 細胞構成分子
1414 細胞—情報伝達, 細胞応答, ストレス応答
1420 遺伝子—構造, 機能
1421 遺伝子—発現制御, トランスクリプトーム
1422 遺伝子—ゲノム解析, メタゲノム, プロテオーム, バイオインフォーマティクス
- 1430 代謝—代謝調節, 発酵生理, メタボローム
1440 物質生産—醸造, 発酵 (一次代謝産物)
1441 物質生産—発酵 (二次代謝産物, 抗生物質, ペプチド, 生理活性物質)
1442 物質生産—酵素, タンパク質
1443 物質生産—微生物変換, 微生物酵素反応
1450 その他
- ◇動物
1510 生理・栄養, 生体機能, 生体制御
1520 細胞—細胞機能, 細胞骨格, オルガネラ, 輸送
1521 細胞—情報伝達, 細胞応答
1530 遺伝子・タンパク質—構造, 機能
1531 遺伝子・タンパク質—発現制御
1540 細胞工学—細胞培養, 紡織培養, 物質生産
1550 無脊椎動物—生理, 細胞, 遺伝子, タンパク質
1560 その他
- ◇植物
1610 一次代謝, 二次代謝
1620 植物ホルモン, 成長調節物質
1630 環境応答, ストレス応答, 情報伝達, 分化
1640 生物間相互作用
1650 植物栄養, 光合成, オルガネラ, 膜輸送
1660 タンパク質, 酵素—機能, 調節
1670 遺伝子—構造解析, ゲノム, 遺伝, 変異
1671 遺伝子—機能, 発現制御
1680 植物工学—育種, 物質生産, 形質転換
1690 その他
- ◇糖鎖生化学・糖鎖工学
1710 構造
1720 合成, 生合成
1730 機能
1740 その他
- ◇生物化学工学
1810 酵素工学・生物反応工学
1820 培養工学—微生物, 動植物細胞
1830 ペプチド・タンパク質工学
1840 生物材料工学, 生体医用工学
1850 その他
- ◇新技術
1910 先端バイオ計測, アレイ, コンビバイオ工学等
1920 分析法, 解析法
1930 その他

講演（発表）要領

PC プレゼンテーションによる一般講演発表者へのお願い

2015（平成27）年度大会の一般講演はすべてパソコンによるプレゼンテーションとなります。
※OHCによる発表は行いませんので、ご注意ください。

1. 講演時間

講演時間は1題につき、**11分（発表8分、討論2分30秒、交代時間30秒）**となります。時間経過はベルでお知らせいたします。ベルを鳴らすタイミングは下記をご確認ください。

1ベル	発表終了2分前	6分経過時
2ベル	発表終了（討論開始）	8分経過時
3ベル	討論終了（持ち時間終了）	10分30秒経過時

2. 講演方法

大会実行委員会でWindowsノートパソコンのみ用意します（自身のノートパソコンでのご発表はできませんので、ご注意ください）。ご発表に使用されるファイルはUSBメモリーに保存してご持参ください。

3. 発表データの作成要項

- WindowsではMicrosoft PowerPoint 2007以降、Mac OS XではMicrosoft PowerPoint 2008以降で作成してください。また、予備として上記ファイルをフォント埋め込み処理をしたPDFに変換したファイルも必ず作成して、両者をUSBメモリーに保存してください。
なお、スライド画面の縦横比は3:4としてください。
- 使用するフォントは、MSゴシック、Arial、Symbolを推奨します。
- USBメモリーはFAT形式でフォーマットしたものをご利用ください。

4. PCへのUSBメモリーの接続

以下の手順で、パソコン（PC）に発表ファイルを含

むUSBメモリーをUSBHUB接続してください。

- 自身の発表の前（10分間の接続時間内）に、各会場前方の「PC接続席」にお越しください。
- 大会実行委員会で用意したPCに接続したUSBHUBに、発表ファイルを含むUSBメモリーを接続してください。
- PowerPointファイルを開いて正しく映写されるかを確認してください。
- 使用しているフォントなどのためPowerPointファイルに問題があった場合は、PDFファイルを開いて確認してください。問題があった場合には、発表はPDFファイルで行ってください。

5. スライド操作

スライド操作は発表者が行ってください（補助者が必要な場合には、自身で手配をお願いいたします）。

6. 音声の出力

音声の出力には対応しておりません。

7. 動画

動画には対応しておりません。

8. その他

学会国際化への対応の一環として、PowerPointの図中の言語は、できるかぎり英語にしてください。ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

講演（発表）要領の詳細は変更になる場合があります。講演（発表）要領は大会ホームページに掲載しますので、その指示に従ってください。

WEB申込・投稿システム ご利用上の注意点

一般講演 申込・要旨投稿 受付期間

および

確認・修正受付期間

2014年11月4日（火）～12月8日（月）正午

※2013年より、要旨投稿締切後の修正期間は廃止となりました。
12月8日（月）正午以降は修正できませんのでご注意ください。

詳細はWEB (<http://www.jsbba.or.jp/2015/>) をご覧ください。

フリーメールアドレスを使用した場合は、受領通知メールがうまく届かない場合がありますので、できるだけ固定のメールアドレスを使用してください。

大会における研究発表の特許手続上の証明

詳細はWEB (<http://www.jsbba.or.jp/2015/>) をご覧ください。

大会参加申込要領（口頭発表者以外）

〈大会参加・懇親会参加申込 WEB受付期間〉
(口頭発表者以外)

2014年11月4日(火)～2015年3月29日(日)正午

※2015年2月10日正午までに参加費および懇親会費をお支払いされる場合は、事前割引料金となります。

※2015年2月10日午後以降は、参加費、懇親会費は正規料金となります。

※2015年2月10日正午までに参加申込いただいたても、2月10日正午までに参加費および懇親会費の納入がない場合は、正規料金となります。

■大会参加申込

○個人会員の方

2015年度大会ホームページ「大会申込エントランス」より、登録画面にログインできます。会員番号(7桁)・生年月日(8桁)・E-mailアドレスを入力してログイン後、画面の指示に従ってください。

※会員番号は、本誌送付状に印字されている7桁の数字です。

※法人会員は大会参加申込できません。賛助会員宛には大会招待引換券を寄附の口数に応じた枚数を別途郵送します。

※入力したE-mailアドレス宛に申込受付番号が通知されます。

※本会ホームページの会員Mypageにて会費のお支払い状況が確認できます。2015年度までの会費が完納されていないと個人会員として参加申込画面に進めません。

会費が未納の方は、会費をクレジットカード決済またはコンビニ決済していただくことで、参加申込ができます。

会費専用決済サイト：

https://jsbba.bioweb.ne.jp/mypage/application_payment.php

※上記サイトにて、クレジットカード決済かコンビニ決済をお選びいただき、決済画面に進んでください。クレジットカード決済またはコンビニ決済が完了しましたら、申込を行ってください。

○会員手続き中の方（仮会員）

初年度会費をクレジットカード決済またはコンビニ決済していただくことで、仮会員番号認証での参加申込ができます。

上記「会員の方」と同様の手順で会費決済、参加申込を行ってください。

※会員番号は頭に「ADM」が付いた仮会員番号を入力してください。

○新規入会して参加登録を行う方

大会エントリー受付期間中、WEB「大会申込エントランス」内の「非会員の方で会員登録もされる方」を選択し、入会申込→新規入会手続きボタンをクリックして新規会員登録の手続きをしてください。新規会員登録の手続きが完了したら、上記「会員手続き中の方（仮会員）」と同様の手順で、会費決済、参加申込を行ってください。

○非会員で参加登録を行う方

大会エントリー受付期間中、WEB「大会申込エントランス」内の「非会員の方で会員登録されない方」を選択し、画面の指示に従ってください。

■懇親会参加申込

大会エントリー受付期間中、WEB「大会申込エントランス」内の「懇親会参加申込」をクリックし、お申込ください。

※懇親会は、参加申込されますとキャンセルできませんので、ご注意ください。

■申込確認・内容修正

・大会エントリー受付期間中、WEB「大会申込エントランス」内の「参加申込確認・修正」からお入りください。

・オンライン受付番号・E-mailアドレスを入力し、認証ボタンを押してください。オンライン受付番号は、カッコより前の数字を入力してください。(例：受付番号PM1872(10)→1872と入力)

■申込後の確認・修正手順・注意点

・修正処理が完了すると自動配信メールが届きます。

〈注意事項〉

※2月10日正午までに参加費の納入がなければ、それ以

前に参加申込いただいたても、事前割引料金とはなりません。 大会参加証・プログラム集はお送りできません。また、大会プログラム検索システムにログインができませんので、悪しからずご了承ください。

※大会当日の受付は非常に混雑します。講演開始時刻に間に合わない事態になっても、大会実行委員会では責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

参加費

(1) 大会参加費

【一般講演申込者（口頭発表者）】

WEB クレジットカード決済・コンビニ決済締切：2014年12月8日正午

※会費と参加費の納入をもって申込完了となります。上記締切までに納入いただけない場合、口頭発表できませんのでご注意ください。

【大会参加申込者（口頭発表者以外）】

WEB クレジットカード決済・コンビニ決済締切（事前割引料金）：2015年2月10日正午

上記期限までに納入いただくと金額は割安となります。

1. 事前申込の大会参加費（事前割引料金）

〈一般講演申込者（口頭発表者）：2014年12月8日正午納入締切〉

〈大会参加申込者（口頭発表者以外）：2015年2月10日正午納入締切〉

正会員 10,000円

学生会員 2,000円

非会員 13,000円

2. 事前申込終了後の大会参加費（正規料金）

〈2015年2月10日正午の納入期限を過ぎた場合（大会参

加申込者（口頭発表者以外）のみ）〉

※口頭発表者は当日申込できません。

正会員 12,000円

学生会員 3,000円

非会員 14,000円

※ WEB クレジット決済、コンビニ決済が困難な方は事務局までご連絡ください。

事務局連絡先：Tel. 03-3811-8789, E-mail: shomu@jsbba.or.jp

(2) 懇親会参加費

WEB クレジットカード決済・コンビニ決済締切（事前割引料金）：2015年2月10日正午

上記期限までに納入いただくと金額は割安となります。

1. 事前申込の懇親会費（事前割引料金）

正会員 10,000円

学生会員 5,000円

非会員 15,000円

2. 事前申込終了後の懇親会費（正規料金）

〈2015年2月10日正午の納入期限を過ぎた場合〉

正会員 12,000円

学生会員 6,000円

非会員 15,000円

※ WEB クレジット決済、コンビニ決済が困難な方は事務局までご連絡ください。

事務局連絡先：Tel. 03-3811-8789, E-mail: shomu@jsbba.or.jp

参加費の納入に関する注意点

※郵便振込用紙による大会参加費および懇親会費の納入は行いません。ご注意ください。

(1) 大会参加費

【一般講演申込者（口頭発表者）】

WEB クレジットカード決済・コンビニ決済締切：2014年12月8日正午

【大会参加申込者（口頭発表者以外）】

WEB クレジットカード決済・コンビニ決済締切（事前割引料金）：2015年2月10日正午

正規料金でのWEB クレジットカード決済・コンビニ決済：2015年2月10日午後より

※大会参加費の納入は、WEB 上でのクレジットカード決済またはコンビニ決済をお願いいたします。クレジットカード決済およびコンビニ決済は、口頭発表者は2014年12月8日（月）正午まで、口頭発表者以外の方は2015年2月10日（火）正午まで事前割引料金にて

お手続きいただけます。ぜひご利用ください。

※諸事情によりクレジットカード決済またはコンビニ決済が不可能な方は事務局までご連絡ください。事務局連絡先：Tel. 03-3811-8789, E-mail: shomu@jsbba.or.jp

※納入された参加費は、原則として返金いたしません。

(2) 懇親会参加費

WEB クレジットカード決済・コンビニ決済締切（事前割引料金）：2015年2月10日正午

正規料金でのWEB クレジットカード決済・コンビニ決済：2015年2月10日午後より

※懇親会費の納入は、WEB 上でのクレジットカード決済またはコンビニ決済をお願いいたします。クレジットカード決済およびコンビニ決済は、2015年2月10日（火）正午まで事前割引料金にてお手続きいただけます。ぜひご利用ください。

※諸事情によりクレジットカード決済またはコンビニ決済が不可能な方は事務局までご連絡ください。事務局連絡先：Tel. 03-3811-8789, E-mail: shomu@jsbba.or.jp

※納入された参加費は、原則として返金いたしません。

宿泊等のご予約

本大会期間中の宿泊のご予約は、インターネットで2015年2月27日まで受け付けいたします。詳しくはKNT ホームページ「日本農芸化学会2015年度大会宿泊受付」をご覧ください。

<http://www.ec-knt.jp/jsbba/>

インターネットによるご予約が困難の方は、

(株)近畿日本ツーリスト中国四国

〒730-0032 広島市中区立町1-24 有信ビル7F

(株)近畿日本ツーリスト中国四国広島支店内

Tel. 082-502-0909, Fax. 082-221-7039

E-mail: jsbba2015@or.kntcs.co.jp

営業時間：平日 9:00～17:30（土日祝休業）広島支店農芸化学会デスクまでお問い合わせください。

公共宿泊施設

岡山市内の公共施設については、料金、申込資格・条件等直接お問い合わせのうえ、お申ください。

サン・ピーチOKAYAMA (岡山県市町村職員共済組合宿泊施設)

〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町2丁目3番31号

Tel. 086-225-0631

Fax. 086-222-6901

<http://www.sunpeach.jp/>

ピュアリティまきび (公立学校共済組合岡山宿泊所)

〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井2-6-41

Tel. 086-232-0511

Fax. 086-224-2995

<http://www.makibi.jp/>

岡山県青年館

〒700-0081 岡山県岡山市北区津島東1丁目4-1

Tel. 086-254-7722

Fax. 086-254-7724

<http://www.seinenkan.com/>

メルパルク岡山

〒700-0984 岡山県岡山市北区桑田町1-13

Tel. 086-223-8100

Fax. 086-223-9152

<http://www.mielparque.jp/okayama/>

託児ルーム

大会期間中の3月27日(金)～29日(日)には、託児ルームを開設します。託児ルームの利用および申込の要領は、大会ホームページに記載します。 本年度は無料で開設する予定です。

ジュニア農芸化学会2015

日頃の研究成果を、大学の先生や大学生・大学院生の前で発表し、学校の枠や世代を超えて自由な議論に参加しませんか。多くの皆さんの応募をお待ちしています。

主 催：日本農芸化学会

後 援(予定)：文部科学省・(独)科学技術振興機構、(公財)農芸化学研究奨励会ほか

日 時：2015年3月27日(金)

10:30～13:30 高校生による研究発表

14:30～15:00 表彰式

15:30～17:30 交流会

場 所：岡山大学津島キャンパス・第2体育館

応募資格：高等学校の生徒であること（例：高等学校化学クラブ、生物クラブ、生活科学クラブ、農業・園芸関係高等学校ほか）、指導の先生も参加可能。会場のサイズの都合により、本年も『発表件数を1校あたり1件のみ』とさせていただきます。

研究分野：化学、生物、環境、生命科学およびそれに関連した研究一般

キーワード：生命、動物、植物、昆虫、微生物、細胞、酵素、発酵、食品、天然物、環境、エコシステム、リサイクル、ビオトープ、森林、ゲノム、環境ホルモンほか

発表形式：ポスター（A0判以内：横84.1cm×縦118.9cm）、優秀な発表には、ポスター賞を贈呈します。

参加費：無料。なお、遠方からの参加校につきましては、旅費を一部補助する場合もあります。

応募期間：2014年12月1日(月)から2014年12月26日(金)

応募要領：申込用紙に要項を記載のうえ、下記の応募先へ郵送してください。なお、要旨（A4判1枚）は例をご参照いただき、2015年2月27日(金)までに下記宛に提出ください。

被災地理科教育支援の一環で、岩手・宮城・福島から高校生を招待し、高校生同士の交流の機会としてもらう予定です。

応募先および問合せ先：

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中1-1-1

岡山大学大学院環境生命科学研究科 食品生物化学研究室「高校生による研究発表」係

担当：中村宜督（なかむら よしまさ）

Fax. 086-251-8388, E-mail: jsbba.junior2015@gmail.com

WEB (http://www.jsbba.or.jp/event/event_junior.html) もご参照ください。

第22回農芸化学Frontiersシンポジウム

「第22回農芸化学Frontiersシンポジウム」を下記の要領で開催します。本会では、学生、ポスドクおよび若手研究者を対象とし、シンポジウムや交流会等の企画を合宿形式で行います。シンポジウムでは、農芸化学分野やバイオテクノロジー分野の第一線で活躍中の研究者を招き、これまでの経験談を交えつつ、最先端の研究をご紹介いただきます。また、交流会では、自身の研究テーマを踏まえたディスカッションを通して、参加者相互の交流を深めていただきます。キャリアパスに興味がある方、人的ネットワークを広げたい方、研究者としてのスキルアップをお考えの方、ぜひ奮ってご参加ください。学部学生の方も歓迎いたします。なお、本会終了後、希望者限定のエクスカーションを予定しております。

主 催：日本農芸化学会

日 程：2015年3月29日（日）午後5時頃～30日（月）正午
〔午後からエクスカーションを予定〕

場 所：ゆのごう美春閣（岡山県美作市中山奥湯郷、
Tel. 0868-72-8111, <http://www.bonvoyage.co.jp>,
大会会場から貸切バスにて移動します。）

プログラム：[3月29日] 講演会、交流会 [3月30日] シンポジウム、総会、エクスカーション（希望者のみ）

募集人員：100名程度

開催内容：[分科会・交流会] テーマごとに小グループに分かれさせていただき、グループディスカッションを行います。全国から集まった、異なる立場の方々と、気軽に自由に意見交換できる場を提供いたします。[講演会・シンポジウム] 最先端の研究を展開されている研究者の方々に、さまざまな体験談を踏まえながら、これまでの研究成果やサイエンスに対する考え方等をご講演いただきます。この企画が、研究生活の質の向上や、これから進路を考える参加者の皆様のステップアップへつながることを期待します。[エクスカーション] 真庭バイオマстаун見学を予定しています。参加受付期間：11月中旬から2月中旬

参加費：一般：13,000円、学生：7,000円。エクスカーション：2,000円

参加申込方法：ホームページにて、必要事項を記入のうえ、お申ください。

問合せ先：今中洋行（岡山大学大学院自然科学研究科、
E-mail: imanaka@okayama-u.ac.jp, Tel. 086-251-8202）

※詳しくは、農芸化学Frontiersシンポジウムのホームページ（http://www.jsbba.or.jp/event/event_sympo_frontier.html）をご覧ください。

2015年度産学官学術交流委員会フォーラムのお知らせ

2015年度産学官学術交流委員会フォーラムを産学官学術交流委員会・さんわか共同企画として、下記の要領で開催します。第1部は第12回農芸化学研究企画賞受賞者の研究企画発表会および第10回農芸化学研究企画賞受賞者の最終報告会（口頭発表）を行い、第2部は第11回同賞受賞者の中間報告会（ポスター発表）を行います。第3部はポスターディスカッションを行います（詳細は決定次第公表）。第4部は「世界に挑む！ 日本発バイオベンチャー！！」と題したシンポジウムを開催します。第5部は技術交流会と題して演者の方々や参加者の皆様の相互

交流を図る機会を提供します。本技術交流会はミキサーと合同開催を予定しておりますので、ミキサー参加者も含めて多くの方と交流できる機会となっております。大会参加者の参加は無料ですので奮ってご参加ください。

主 催：日本農芸化学会「産学官学術交流委員会」、「産学官若手交流会（通称：さんわか）」

日 時：2015年3月28日（土）13時30分開始

会 場：岡山大学津島キャンパス 創立50周年記念館
1階金光ホール・交流サロンおよび南福利施設
(ピーチユニオン)

- 第1部（創立50周年記念館1階金光ホール）
- 第12回農芸化学研究企画賞受賞者研究企画発表会
 - 第10回農芸化学研究企画賞受賞者最終報告会
 - ・「高機能食品成分を用いた脳老化の予防と改善に関する研究」
久恒辰博氏（東京大学・大学院新領域創成科学研究科）
 - ・「メタン発酵プロセスに用いる高熱性細菌の探索と応用」
中島琢自氏（北里大学・感染制御研究機構）
 - ・「ヘスペリジンの機能性に注目したかんきつ類の高度利用と地域活性化」
田丸靜香氏（長崎県立大学・看護栄養学部）
- 第2部（創立50周年記念館1階交流サロン）
- 第11回農芸化学研究企画賞受賞者中間報告会
 - ・「放線菌二次代謝物の生産を増強する小分子バイオメディエーターの開発」
高橋俊二氏（理化学研究所・環境資源科学的研究センター）

- ・「生食用赤果肉リンゴ原因遺伝子の機能解析と育種の効率化」
松本省吾氏（名古屋大学・大学院生命農学研究科）
 - ・「巨大褐藻類を原料とする有用バルクケミカル発酵生産技術の開発」
河井重幸氏（京都大学・大学院農学研究科）
- 第3部（創立50周年記念館1階交流サロン）
- ポスターディスカッション
- 第4部（創立50周年記念館1階金光ホール）
- シンポジウム「世界に挑む！ 日本発バイオベンチャー！！」
- 講演者は未定
- 第5部（南福利施設（ピーチユニオン））
- 技術交流会（ミキサーと共に）
- ※第5部はミキサー形式となっております。皆様奮ってご参加ください。

2015年度日本農芸化学大会JABEEランチョンシンポジウム 「グローバル人材育成と教育改革」

趣 旨：大学・大学院におけるグローバルな人材育成の重要性が叫ばれ、各大学・大学院で教育改革が進展しています。そこで、今回、農学系分野において特徴的なグローバル人材育成のためのプログラムを紹介するとともに、グローバル時代における博士人材にも焦点をあてながら、改めて農学系における人材育成について議論したいと考えております。

主 催：日本農芸化学会JABEE対応委員会
日 時：2015年3月29日（日）

場 所：岡山大学（2015年度日本農芸化学会大会会場内）

司会者：江坂宗春（広島大院生物圈）

プログラム：

- (01) 「はじめに—グローバル人材育成とJABEE—」・江坂宗春（広島大院生物圈、JABEE対応委員会委員長）
- （02）「乾燥地を利用したグローバル人材育成」・本名俊正（鳥取大 学長顧問）
- （03）「グローバル時代の博士人材育成」・三須敏幸（広島大特任教授、前科学技術・学術政策研究所上席研究官）

バイオビジネスアピールエリア 機器・試薬・書籍等附設展示会 「ランチョンセミナー」演題募集 出品・出展者募集 出展者募集

上記の募集につきましては、WEB（<http://www.jsbba.or.jp/2015/>）にてご案内いたします。ぜひご覧ください。

※インターネット（WEB）でお申込のできない方用

日本農芸化学会

2015年度大会・懇親会 参加申込書

2015年1月16日（金）必着

※受付後、オンライン受付番号をお知らせいたします。

有功会員	正会員	学生会員	非会員	○印をお付けください
大会参加	懇親会参加			一方または両方に○印をお付けください
会員番号（7桁）				
氏名				
生年月日				
参加証・プログラム集				
送付先				
電話番号				
FAX番号				
振込予定日				

※インターネット（WEB）でお申込できない方は、参加費お振込の前に上記の必要事項をご記入のうえ、FAX. (03-3815-1920) または郵送（〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階 日本農芸化学会事務局大会係）にて、必ずお送りください。受付番号をお知らせいたします。

※インターネット（WEB）から参加費のクレジット決済およびコンビニ決済ができない方は、本会までご連絡ください。